



<https://www.nihonbunka.or.jp/>

令和5年度事業報告 附属明細書
令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」
第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。
令和6年8月27日

公益財団法人日本文化興隆財団

令和5年度事業報告書（令和5年7月～令和6年6月）

公益財団法人日本文化興隆財団



田んぼ学校

公益財団法人日本文化興隆財団 令和5年度 事業報告書 （令和5年7月～令和6年6月）

公益財団法人日本文化興隆財団

当財団の事業体系

公益目的事業1	日本の伝統精神と文化を伝える事業	
	日本文化の興隆事業	田んぼ学校 日本文化セミナー 鎮守の森保全活動
	季刊誌『皇室』の頒布普及事業	季刊誌『皇室』の編集・発行
	検定事業	神道文化検定（神社検定）の実施 セミナーの開催
	皇室敬慕に関する事業	皇居参賀奉祝事業（一般参賀）
公益目的事業2	国旗小旗の無償頒布を通じた国旗啓発事業	
公益目的事業3	国民の健全育成事業	硫黄島訪島事業 建国メモリアル・ザ・マーチングコンテスト後援事業
収益事業1	物品頒布事業	
収益事業2	テナント及び貸会議室の施設運営	不動産賃貸事業 貸会議室の施設運営

令和5年度 公益目的事業1

日本の伝統精神と文化を伝える事業

1 日本文化の興隆事業

(1) 第15回・第16回

田んぼ学校

主催：日本文化興隆財団
協力：古宮神社・農協観光株式会社
國學院大學

日本の伝統精神、文化と切り離すことが出来ない「米作り」を神社で体験を通して学ぶ「田んぼ学校」を令和5年10月1日（日）に稲刈り、令和6年6月16日（日）に田植えを開催した。

また、圃場体験だけではなく、自宅でも稲作体験ができるようにJAグループの協力でバケツを利用した稲作体験セット「おうちで田んぼ学校」を昨年に続いて製作し、参加者は収穫まで各々成長記録をX(旧twitter)で投稿し、収穫後は、田んぼ学校の収穫米と共に事務局で取りまとめ、神宮の神嘗祭に懸税として奉納した。

参加費：大人11,600円・小人9,500円（田植え・稲刈りセット）

◇第15回田んぼ学校

日 時：令和5年10月1日（日）※稲刈り

場 所：埼玉県熊谷市（古宮神社・近接圃場）

参加数：90名

内 容：稲刈り体験（手刈体験・はさかけ体験・コンバイン見学）
お米とお祭りの話（古宮神社 茂木宮司）
脱穀・粃摺り・精米体験
豊作感謝祭

◇第16回田んぼ学校

日 時：令和6年6月16日（日）※田植え

場 所：埼玉県熊谷市（古宮神社・近接圃場）

参加数：94名

内 容：豊作祈願祭
田んぼとお米の話（佐久間事務局長・古宮神社 茂木宮司）
ポン菓子作り見学・体験
田植え体験



令和5年度 公益目的事業1

日本の伝統精神と文化を伝える事業

公益財団法人日本文化興隆財団 × JAグループ

おうちで田んぼ学校

家庭で田んぼ体験

募集期間：令和6年5月2日～5月31日

参 加 数：22名

参 加 費：3,850円（教材・送料込）

協 力：JAグループ・農協観光株式会社



セット内容

- 種もみ（彩のきずな）
- 肥料
- 土（黒土・赤玉土・鹿沼土ブレンド）
- バケツ（10L）
- おうちで田んぼ学校説明書
- 稲づくりマニュアル
- 絵本『いただきます』



(2) 日本文化セミナー

各種セミナーの開発に努め、歴史や伝統文化に培われた我が国固有の精神文化を学ぶ独自の講演会及び、各種研修会等を開催する目的から、以下のセミナーを開催及び共催した。

◇伝統文化セミナー 基礎講座

「家庭の中のまつり 神棚の伝統と今」

主催：神社本庁教化広報センター

共催：日本文化興隆財団

講師：神社本庁総合研究部

研究祭務課長 岡市仁志

（有）静岡木工 代表取締役 杉本かつ行

（有）静岡木工 神棚アドバイザー 齊藤 蘭

対象：メディア関係者

日時：令和5年12月12日（火）14:00～16:30

会場：日本文化興隆財団会議室

◇古事記講座「日本を元気にする古事記のこころ」

『古事記』の一般的な解釈講座ではなく、その紙背にある心を解釈する講座を開催した。

日 程：令和5年7月24日・8月21日・9月25日・10月23日

11月27日・12月18日

令和6年2月19日・3月25日

以降、講師急病につき休講

時 間：各18時20分～19時50分

講 師：小野善一郎

（群馬・渋川八幡宮宮司・國學院大學講師）

会 場：日本文化興隆財団会議室

(3) 鎮守の森保全活動

平成24年6月から平成27年6月の3年間にわたり、横浜国立大学名誉教授の宮脇昭氏指導のもと東日本大震災で被災した全11箇所の神社において計21,318本の常緑広葉樹を主体に植樹祭を開催し、以降補植を含めた森の育成観察を継続している。また、NPO法人地球の緑を育てる会・筑波山神社と共催で、筑波山神社の鎮守の森において森の保全活動事業を継続実施した。

◇第18回 筑波山水源の森づくり -筑波山神社の鎮守の森で植樹体験-

筑波山神社の鎮守の森の一部は、戦後に植林された人工林の多くが放置されてきた状況から、宮脇昭氏の潜在自然植生の森づくりを継承し、本来の自然に近い広葉樹林化に誘導する長期にわたる事業。

共 催：日本文化興隆財団・NPO地球の緑を育てる会・筑波山神社

開催日：令和6年5月26日（日）

会 場：筑波山神社（筑波山）

講 師：藤原一繪（横浜国立大学名誉教授）

参加数：248名

協 賛：株式会社伊藤園

後 援：茨城森林管理署

協 力：明るい社会づくり筑波協議会・土浦ライオンズクラブ

いのちの森づくり2020

参加費：無料・お弁当付き



令和5年度 公益目的事業1 日本の伝統精神と文化を伝える事業

植樹祭開催地の現状

平成24年6月から平成27年6月の3年間にわたり、横浜国立大学名誉教授の宮脇昭氏指導のもと東日本大震災で被災した全11箇所の神社において計21,318本の常緑広葉樹を主体に植樹祭を開催した後、補植を含めた森の育成観察を続けている。令和5年度も継続的に調査をおこなった。

調査団体：公益財団法人日本文化興隆財団

調査地：福島県、宮城県の植樹地会場（11箇所）

調査日：現地調査 令和6年3月29日

①八重垣神社（宮司：藤波祥子）

鎮座地：宮城県亶理郡山元町高瀬笠野128

植栽日：平成24年6月24日（日）

参加者：530名 植樹本数：3238本

【現況】高木層は約6mでタブノキが優占。高木層から亜高木層は、タブノキの他、スダジイ、モチノキ、アカガシ、シロダモ、ヤマザクラなど約5mに生育している。低木層はネズミモチ、ヤブツバキ、シラカシ、ウラジロガシなどで構成され良好に生育している。

②吉田浜神明社（宮司：三品正隆）

鎮座地：宮城県亶理郡亶理町吉田字須賀畑108

植栽日：平成24年8月14日（火）

参加数：250名 植樹数：1118本

【現況】高木層はタブノキ、スダジイで約5m。高木層から亜高木層も約4m以上で、その他モチノキ、アカガシ、シラカシ、ネズミモチなどで構成。低木層から亜高木層のウラジロガシ、ヤマザクラ、ヤブツバキ、低木層のシロダモなども良好に生育している。

③青巢稲荷神社（宮司：藤本和敏）

鎮座地：宮城県亶理郡山元町山寺字浜96

植栽日：平成25年4月29日（月）

参加数：350名 植樹数：2448本 **半数枯れる**

【現況】高木層は約7mでスダジイ、タブノキ、ヤマザクラなどで構成。亜高木層もシラカシ、アラカシ、ウラジロガシ、アカガシなど、低木層もヤブツバキ、ネズミモチ、シロダモなどで構成されているが、境内地を拡張し、正面右側全体を約5mほど後退移植したと思われる形跡があり、正面右側は、大部分が枯れている。

④川口神社（宮司：渡邊恵理子）

鎮座地：宮城県亶理郡亶理町荒浜字明神西

植栽日：平成25年5月3日（金）

参加数：250名 植樹数：1811本

【現況】高木層は7m以上でタブノキ、スダジイ、ヤマザクラ、ウラジロガシで構成される。亜高木層は約4m以上でアカガシ、シロダモ、モチノキ、ネズミモチなどで構成される。低木層も2m以上でヤブツバキの他被圧木で構成され、高木、亜高木はいずれも良好に生育し、社殿を覆いつくしている。

⑤鳥海塩神社（宮司：三品正隆）

鎮座地：宮城県亶理郡亶理町長瀬字大橋199

植栽日：平成25年7月7日（日）

参加者：550名 植樹数：2123本

【現況】高木層は6m以上でタブノキ、スダジイ、ヤマザクラで構成される。亜高木層は約4m以上で上記3種の他、アカガシ、ウラジロガシ、シラカシ、モチノキなどで構成される。低木層はネズミモチなどで構成される。高木、亜高木で植栽されたいずれも良好に生育し、境内を囲むように順調に生育している。

⑥伊去波夜和氣命神社（宮司：大國龍笙）

鎮座地：宮城県石巻市大宮町5-45

植栽日：平成26年4月6日（日）

参加数：350名 植樹数：3650本

【現況】高木層は約5mでタブノキが優占する。亜高木層は約4mでシラカシで構成される。低木層は1～2mでモチノキ、ヤマザクラなどで構成される。高木、亜高木で植栽された11種はいずれも順調に生育している。最大樹高はタブノキで約5m、目通り直径10cm。

⑦見渡神社（宮司：高木美郎）

鎮座地：福島県いわき市久之浜町金ヶ沢

植栽日：平成26年4月27日（日）

参加数：280名 植樹数：790本

【現況】高木層は約5mでヤマザクラ、タブノキ、スダジイで構成。亜高木層は約4mでシラカシ、アラカシ、ウラジロガシ、アカガシなどで構成される。低木層は約2mでサカキ、ヤブツバキ、シロダモ、ユズリハなどで構成される。高木、亜高木で植栽された13種はいずれも良好に生育している。最大樹高はヤマザクラで約6mであった。

⑧新山神社（宮司：千葉秀司）

鎮座地：宮城県石巻市雄勝町上雄勝3-35

植栽日：平成26年5月3日（土）

参加数：200名 植樹数：2800本 **鹿害発生**

【現況】植栽後から草食獣（鹿）の食害が拡大し、植栽11種のうち5種は消失した。高木層は約7mでヤマザクラが優占する。亜高木層は約4mでアカガシとユズリハが生育している。最大樹高はヤマザクラで約7m。新山神社の森は、シカの食害圧力と近隣で行われる復興工事による抑制効果から、この地ならではの潜在自然植生の姿になりつつある。

⑨五十鈴神社（宮司：千葉秀司）

鎮座地：宮城県石巻市雄勝町分浜字分浜238

植栽日：平成26年7月6日（日）

参加数：400名 植樹数：3330本 **鹿害発生**

【現況】植栽以降、草食獣（鹿）の食害が拡大し、植栽11種のうち9種は消失した。ヤマザクラとシロダモのみ生育する。ヤマザクラは最大樹高6m、8個体が生存。シロダモは最大樹高4m、6個体が生存。クスノキは食害があったが樹高3mに生育。コナラは樹高3.3m。林縁低木はほぼ消失。シカが忌避するシキミと後日植栽されたアセビが生存している。人間活動とシカの食害圧力と苗木の成長速度のバランスが崩れると、樹林化さえ困難となる。五十鈴神社は貴重な知見を与えてくれている。

⑩山田神社（宮司：森 幸彦）

鎮座地：福島県南相馬市鹿島区北海老字磯ノ上

植栽日：平成27年5月3日（日）

参加数：500名 植樹数：2970本

【現況】高木層は約5mでタブノキが優占する。亜高木層は約3mでスダジイが目立つ。他にウラジロガシ、モチノキ、ヤマザクラも3m程度に成長している。亜高木層～低木層にかけての樹高2m程度でアカガシ、アラカシ、シラカシ、カクレミノが生育している。高木、亜高木で植栽された13種はいずれも良好に生育している。最大樹高はタブノキで5m、目通り直径7cmであった。コマツナギ、ツリガネニンジン、ワレモコウなど在来の半自然草地の植物が多く生育している。

⑪八幡神社（宮司：鍵 三夫）

鎮座地：宮城県多賀城市宮内1-2-50

植栽日：平成27年6月14日（日）

参加数：1000名 植樹数：6024本

【現況】植栽規模は最大である。高木層は約6mでタブノキ、ヤマザクラで構成される。亜高木層は約4mでアカガシ、シラカシ、ウラジロガシ、シロダモ、モチノキ、ユズリハ、サカキなどで構成される。低木層は2.5mでヤブツバキとキンモクセイ、被圧木などで構成される。高木、亜高木で植栽された13種はいずれも良好に生育している。最大樹高はタブノキで6mであった。

2 季刊誌『皇室』の頒布普及事業

季刊誌 **皇 室** THE IMPERIAL FAMILY 通巻100号達成



季刊誌『皇室』を年4回定期発行し、令和5年度は99号から102号を刊行。創刊以来100号を達成したことから、編集体制の見直しを図り、新年度より当財団の編集機能向上に向け協議を重ねた。また、継続的に一般財団法人日本宝くじ協会の助成により、全国公立図書館3100箇所、地方自治体議会図書館400箇所、計3,500箇所への寄贈活動を継続し、不特定多数に向けて皇室への理解促進と敬慕の念の醸成に努めた。

第102号（令和6年春号）**扶桑社編集最終号**
◇天皇・皇后両陛下 奥能登へ 被災地お見舞い
◇敬宮殿下 伊勢神宮・神武天皇陵ご参拝
◇敬宮殿下 慶祝！ 大学ご卒業
◇佳子内親王殿下 29歳のお誕生日をお迎えに
◇連載 神宮の祭り 第2回 「日別朝夕大御饗祭」

第100号（令和5年秋号）
◇天皇・皇后両陛下 インドネシアご訪問
◇天皇・皇后両陛下 全国植樹祭ご臨席
◇上皇・上皇后両陛下のご近況
◇神宮神御衣御料奉獻
◇尼門跡寺院と文化 光照院と三時知恩院

第101号（令和6年冬号）
◇天皇・皇后両陛下 秋の地方ご訪問
◇秋篠宮皇嗣・同妃両殿下 ベトナムご訪問
◇佳子内親王殿下 ペルーご訪問
◇敬宮殿下 22歳のお誕生日によせて
◇常陸宮殿下 米寿をお迎えに

第99号（令和5年夏号）
◇天皇・皇后両陛下ご結婚30年
◇特集 皇室とイギリス王室
◇三笠宮妃殿下 百歳をお迎えに
◇神宮宮域林 百年の森と柚夫の技
◇尼門跡寺院と文化 中宮寺

季刊誌『皇室』公式 X(Twitter) を開設し、最新号の案内や、バックナンバーの記事、ご動静や日本文化の関連記事を掲載するなど、不特定多数に向けた広報をおこなった。



3 検定事業
第12回神道文化検定（神社検定）
会場受検を再開・オンラインも継続で開催



神道文化検定（通称・神社検定）は、これまで感染症対策を優先してオンラインで開催してきたが、第12回は、会場受検を再開し、オンラインと同時に開催した。同検定は、神道に対する正しい知識と日本文化の啓発を目的に継続開催した。第12回の同検定は、令和6年6月23日（日）に開催され、全国33会場で1,002名、オンラインで1,137名の計2,139名が受検した。第1回からの受検者総数は45,000名を超えた。合格判定は、7月23日（火）にオンラインで公表され、郵送での成績通知は9月中旬を予定している。

検定日時	令和6年6月23日		
	初級	11時00分～11時45分	オンライン オンライン受検で実施
	参級	13時00分～14時20分 ※オンラインは13時10分～14時20分	オンライン オンライン・会場受検で実施 会場
	弐級 壹級	15時20分～17時00分	会場 会場受検で実施
受検資格	●インターネット環境を有する（オンライン受検者のみ） ●初級と参級・参級と弐級は併願可能 ●壹級は弐級合格者のみ受検可能		
合格基準	●初級は50問中35問以上の正解 ●参級、弐級、壹級は100問中70問以上の正解 ※参級に限り70点以上が全体の70%未満の場合は、 全体受検者の上位70%を合格認定		



東京・國學院大學会場

初題形式と出題内容

初級

神話を知ろう！

▶『マンガならわかる！『古事記』第5章までから100%出題

参級
(3級)

神社の基礎と神話

▶『① 神社のいろは』から約70%出題
▶『マンガならわかる！『古事記』』から約30%出題

弐級
(2級)

神社の歴史

▶『③ 神社のいろは 続』から約70%出題
▶『令和のご大札 完全版』から約20%出題
▶季刊誌『皇室』99号～102号から約10%出題

壹級
(1級)

指定テキストから総合的に出題

▶『⑦ 神社のいろは要語集 祭祀編』から約50%出題
▶『令和のご大札 完全版』から約30%出題
▶『⑨ 神話のおへそ『古語拾遺』編』から約10%出題
▶季刊誌『皇室』99号～102号から約10%出題

受検料

初級

3,500円(税込)

参級(3級)

5,700円(税込)

弐級(2級)

6,900円(税込)

壹級(1級)

7,900円(税込)

初級・参級併願

8,200円(税込)

参級・弐級併願

11,500円(税込)

WEB広告の展開

WEB上（Googl）での広報活動を展開した。（令和6年4月1日～5月31日）
掲載数：2,571,456回・クリック数：43,695回・クリック率：1.7%

書店フェアの開催

日本出版販売の協力で、ジュンク堂・丸善の全国52店舗にて「神社検定フェア」を開催した。

写真：ジュンク堂吉祥寺店→



神社検定特別セミナーの開催

◇第12回神社検定受検対策ガイド
教養講座 人生儀礼「厄と祝い」同時開催

教養講座として受検者対象に神社本庁総合研究部長の特別教養講座と受検対策ガイドを開催した。

内 容：〔第一部〕特別教養講座「人生儀礼「厄と祝い」

講師：浅山雅司氏（神社本庁総合研究部長）

〔第二部〕第12回神社検定受検対策ガイド

講師：伊豆野誠氏（神社検定公式テキスト・季刊誌『皇室』編集長）

主 催：日本文化興隆財団

日 時：令和5年12月20日（水） 18時15分～20時45分

会 場：公益財団法人日本文化興隆財団会議室

参加費：2,200円(税込)※第一部・第二部含む

参加数：100名（満席）

◇神道基礎講座の開催

多摩湖氷川神社崇敬者を対象に同検定の告知と神道の基礎知識講座を開催した。

主 催：多摩湖氷川神社・日本文化興隆財団

日 時：令和6年5月12日（日） 10時～12時

会 場：多摩湖氷川神社社務所（東京都東村山市多摩湖町）

講 師：伊豆野誠氏

参加数：25名（満席）

参加費：無料

◇特別研修会「お伊勢参り」開催

神宮にて受検者を対象としたセミナーを開催した。

二見興玉神社参拝、伊勢では特別講話、饗膳、外宮・内宮で御垣内特別参拝、内宮で御神楽奉納など、神宮の荘厳な御正宮と御神域を巡りながら、その営みと悠久の歴史、そして10年後に控えた式年遷宮の“こころ”を体感する講座を開催した。

主 催：日本文化興隆財団

協 力：神宮・伊勢神宮崇敬会

日 時：令和5年10月7日（土）・8日（日）両日開催 9時～16時

参加費：検定合格者：26,400円税込

一般参加者：28,600円税込

※貸切バス代・玉串料・御神楽料・昼食代・施設使用料含む

参加数：各40名 計80名（満席）



◇見て触れて学ぶ「神社のいろは」 特別セミナー開催

テキストだけでは知ることが出来ない神社の施設・備品・祭器具・祭服などの基本的な知識を実際に見て、触れて学ぶ神社有職故実の入門講座を國學院大學祭式教室で開催した。

主 催：日本文化興隆財団
協 力：國學院大學
講 師：國學院大學神道文化学部准教授 星野光樹先生
内 容：第一部 作法編
手水の使い方・拝礼作法・修祓・本殿の構造・神饌伝供体験
第二部 有職故実編
神職の持ち物・履物・神職の服装・巫女の装束
日 時：令和6年 5月4日（土）・11日（土）
2回開催 各13時～16時
会 場：國學院大學祭式教室
参加費：検定合格者 7,700円
一般参加者 9,900円
参加数：各50名 計100名（満席）



◇第12回 神社検定対策講座

第12回神社検定受検者を対象にした対策講座を開催した。
過去に出題された問題を中心に、出題の傾向やポイント、テキストの読み進め方などを解説。
アーカイブ配信（有料）も行った。

主 催：日本文化興隆財団
日 時：初級・参級 令和6年5月18日（土） 10時30分～12時
式級 令和6年5月25日（土） 10時30分～12時
壹級 令和6年5月25日（土） 13時～14時30分
講 師：伊豆野 誠
会 場：日本文化興隆財団会議室
参加費：会場 各3,300円 / アーカイブ 各1,650円
参加数：初級・参級 〔会場〕27名 〔アーカイブ〕75名 計102名
式級 〔会場〕41名 〔アーカイブ〕88名 計129名
壹級 〔会場〕34名 〔アーカイブ〕68名 計102名 合計333名

◇お試し神社検定開催

埼玉県神社庁主催の「神主さんと神社を学ぼう」に参画し、会場内にブースを設置して同検定告知及び「おためし神社検定」を開催し、約400名が受検した。

主 催：埼玉県神社庁
日 時：令和6年3月24日（日）9時30分～16時
会 場：武蔵一之宮氷川神社参道及び境内
内 容：社務所内に同検定ブースを設置し、不特定多数の来場者に10問の検定問題に回答してもらい7問以上の正解で粗品を贈呈した。
会場内では、埼玉県内各社の御朱印を一堂に会した「埼玉の神社 御朱印展」、氷川神社参道『氷川マルシェ』と称して、埼玉の有名店が出店した食の祭典も開催された。
参加数：約400名（おためし神社検定受検者数）



公式テキスト出版活動

『マンガならわかる！『古事記』』を発行。公式テキスト累計発行部数は25万冊を突破。
電子書籍も増加

公式テキスト名	発行部数	電子書籍	公式テキスト名	発行部数	電子書籍
神社のいろは	63,000	3,754	神話のおへそ『日本書紀』編	10,000	
神話のおへそ	34,000	1,068	伊勢神宮と、遷宮のかたち	5,700	163
神社のいろは続	23,000	1,137	マンガならわかる！『日本書紀』	6,000	3,188
遷宮のつぼ	18,000	457	マンガ神社のいろは	6,500	3,656
神社のいろは要語集宗教編	5,900		マンガならわかる！『古事記』	5,000	296
日本の祭り	9,000		令和のご大礼完全版	3,500	
神社のいろは要語集祭祀編	4,600		神社検定問題と解説	41,600	
万葉集と神様	7,000		計	251,700	13,719
神話のおへそ『古語拾遺』編	8,900		合計	265,419	

受検者統計

□受検者数と合格率

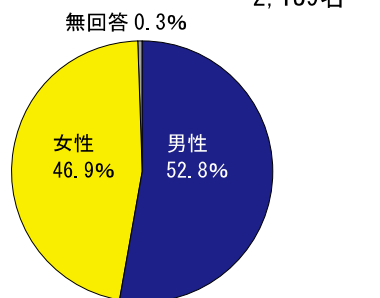
壹級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	215名	182名	92名	50.5%	66.5点 /100点
貳級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	465名	369名	210名	56.9%	69.7点 /100点
参級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	512名	451名	342名	75.8%	77.6点 /100点
オンライン参級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	723名	672名	546名	81.3%	81.0点 /100点
オンライン初級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	508名	465名	409名	88.0%	42.7点 /50点

□年齢別

壹級	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	総計
			12名	15名	34名	64名	40名	15名	2名		182名
貳級	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	総計
		15名	40名	50名	80名	123名	42名	18名	1名		369名
参級 オンライン含	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	総計
	1名	59名	164名	148名	239名	333名	135名	43名	1名		1,123名
初級 オンライン含	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	総計
	1名	23名	63名	66名	109名	123名	66名	14名			465

□男女比

	壹級	貳級	参級	初級	総計	%
女性	76名	159名	527名	242名	1,004名	46.9%
男性	106名	209名	594名	220名	1,129名	52.8%
無回答	0名	1名	2名	3名	6名	0.3%
総計	182名	369名	1,123名	465名	2,139名	100.0%



受検者数と合格者数

		壹級			貳級			参級			オンライン参級			オンライン初級			合計		
		申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者
1	北海道	5	4	2	6	4	3	7	6	4	11	10	8	6	6	4	35	30	21
2	青森県	0	0	0	2	2	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	5	5	3
3	岩手県	0	0	0	1	1	0	3	3	3	1	1	0	2	2	2	7	7	5
4	宮城県	3	3	1	4	4	3	6	6	5	12	11	7	6	6	5	31	30	21
5	秋田県	1	1	0	1	1	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	4	3	1
6	山形県	1	1	1	3	3	2	1	1	1	4	4	3	4	4	4	13	13	11
7	福島県	3	2	1	4	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	13	10	7
8	茨城県	2	1	0	2	1	1	8	7	1	6	5	5	4	4	4	22	18	11
9	栃木県	1	1	1	5	4	1	5	5	2	10	10	9	4	4	3	25	24	16
10	群馬県	2	1	1	5	5	1	5	5	3	5	4	3	8	6	5	25	21	13
11	埼玉県	18	16	10	55	45	24	59	53	43	57	54	38	37	34	32	226	202	147
12	千葉県	16	13	4	36	31	17	32	30	20	71	66	59	31	28	26	186	168	126
13	東京都	46	34	13	119	91	49	106	94	72	167	152	133	108	94	85	546	465	352
14	神奈川県	20	18	12	46	31	21	62	52	41	67	65	52	47	43	36	242	209	162
15	新潟県	4	3	1	2	2	2	8	5	3	14	13	9	8	8	7	36	31	22
16	富山県	1	1	0	1	1	1	2	2	2	5	3	1	4	4	4	13	11	8
17	石川県	0	0	0	1	1	0	1	1	1	6	6	6	3	3	1	11	11	8
18	福井県	1	1	1	4	4	3	2	2	2	2	2	2	0	0	0	9	9	8
19	山梨県	1	1	0	6	4	3	2	1	1	1	1	1	3	3	1	13	10	6
20	長野県	1	1	0	7	7	4	9	9	5	9	9	7	7	7	7	33	33	23
21	岐阜県	3	3	2	4	4	3	2	2	2	5	5	4	7	7	7	21	21	18
22	静岡県	10	8	7	12	11	8	10	8	7	9	9	7	9	8	8	50	44	37
23	愛知県	5	5	2	14	13	11	12	11	10	42	38	29	30	27	25	103	94	77
24	三重県	10	10	4	8	6	4	17	14	10	14	12	8	10	9	9	59	51	35
25	滋賀県	1	1	1	1	1	0	2	2	2	5	5	4	4	4	4	13	13	11
26	京都府	9	8	5	11	8	3	26	24	14	14	12	10	13	11	8	73	63	40
27	大阪府	11	9	3	30	25	11	40	36	27	49	48	39	46	42	35	176	160	115
28	兵庫県	8	6	3	15	10	3	19	15	13	41	37	30	21	19	18	104	87	67
29	奈良県	2	2	2	8	5	4	7	5	4	4	4	3	4	4	4	25	20	17
30	和歌山県	2	2	1	3	2	0	2	2	2	11	10	5	7	6	5	25	22	13
31	鳥取県	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	3	3	2
32	島根県	1	1	1	0	0	0	3	3	3	3	3	3	2	2	2	9	9	9
33	岡山県	2	2	1	9	6	1	11	9	7	2	1	1	6	5	5	30	23	15
34	広島県	5	5	2	8	7	4	9	7	7	11	11	11	9	9	8	42	39	32
35	山口県	0	0	0	3	3	3	3	2	2	3	3	3	4	4	4	13	12	12
36	徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	1	1	3	3	3
37	香川県	0	0	0	4	4	4	3	3	3	8	7	4	4	3	3	19	17	14
38	愛媛県	1	1	0	3	1	1	2	2	2	4	4	3	6	6	5	16	14	11
39	高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2	2	2
40	福岡県	8	6	4	15	13	10	11	11	10	21	21	18	20	19	15	75	70	57
41	佐賀県	0	0	0	2	1	0	1	1	1	3	3	2	2	2	1	8	7	4
42	長崎県	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	3	3	2	9	9	7
43	熊本県	3	3	3	1	1	1	0	0	0	5	4	3	4	4	4	13	12	11
44	大分県	0	0	0	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	0	6	6	3
45	宮崎県	1	1	0	0	0	0	3	2	1	0	0	0	1	1	1	5	4	2
46	鹿児島県	2	2	0	1	1	0	5	4	2	7	7	4	5	5	4	20	19	10
47	沖縄県	2	2	2	0	0	0	1	1	0	2	1	1	1	1	1	6	5	4
48	総計	215	182	92	465	369	210	512	451	342	723	672	546	508	465	409	2,423	2,139	1,599

4 皇室敬慕に関する事業

本事業は、国民の皇室への敬愛の念を育む各種文化事業、広く国民のその趣旨を伝える奉祝事業を推進することを目的としている。

これまで、皇居一般参賀において国旗小旗の頒布事業をおこなってきた一般社団法人国旗協会が解散したことを受け、これまで同協会を支援してきた諸団体と連携し、皇居参賀奉祝委員会を結成、皇居参賀奉祝事業として前年度より事業継承した。

活動の財源は、皇居参賀奉祝委員会に所属する各団体ほか、一般に向けて季刊誌『皇室』に寄附の依頼を掲載したほか、ホームページからも容易に寄附ができる専用サイトを制作するなど広く不特定多数に協力を求めた。

◇皇居参賀奉祝事業（天皇誕生日）※新年参賀は能登半島地震により中止

主 催：日本文化興隆財団
皇居参賀奉祝委員会

不二歌道会・モラロジー道德教育財団・新教育者連盟
東京都神社庁・東京都神社スカウト協議会・日本会議
東京都本部・まほろば教育事業団・谷口雅春先生を学ぶ会・全日本学生文化会議・日本青年協議会

日 時：令和6年2月23日（祝・天皇誕生日）
午前6時～13時・雨天

場 所：桜田門・馬場先門・和田倉門の参入口で配布
坂下門・桔梗門・大手門・平川門・北桔梗門の各退出口で回収
実施統制本部は馬場先地区に設置

配布数：14,055本（参賀者14,240名）

奉仕者：224名〔ご参考：令和5年新年 56名/天皇誕生日149名〕

日 程： 7時 関係者馬場先地区集合
8時 交通規制開始
8時10分 参賀者入門開始
10時20分 お出まし1回目
11時 お出まし2回目
11時30分 小旗配布終了
11時40分 お出まし3回目
12時10分 小旗回収終了
13時 解散



令和5年度 公益目的事業2

国旗小旗の無償頒布を通した国旗啓発事業

当財団の公益事業の柱として、毎年全国の敬神婦人会のボランティアによる協力を得て、約10万本の奉製を戴き、国旗啓発事業としての助成事業を行った。

助成希望団体には、申請書及び配布報告書の提出を依頼している。

また、全国敬神婦人連合会始め、全国の敬神婦人会、小旗助成団体からも多数の寄附金をいただいた。

《頒布数》

令和元年度：申請受理件数71件/申請本数75,200件/助成本数 49,530本

令和2年度：申請受理件数23件/申請本数11,550本/助成本数 5,450本

令和3年度：申請受理件数28件/申請本数60,050本/助成本数 54,986本

※令和3年度は、42,550本を神道青年全国協議会の事業で使用

令和4年度：申請受理件数29件/申請本数10,400本/助成本数 7,590本

令和5年度：申請受理件数42件/申請本数64,180本/助成本数 59,003本

(1) 硫黄島訪島事業

本事業は、こども家庭庁、厚生労働省の後援、公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会と共催し、硫黄島での戦死者ご遺族関係者を公募して、硫黄島にて慰霊行事をおこない、戦跡を巡ることで、散華された英霊を偲び、真の平和と明日の日本の姿を改めて考え、次代に伝えていくことを目的で、平成27年から毎年開催している。これまで、島内での火山噴火、群発地震、コロナウイルス感染症拡大により2回中止となっており、令和5年度は、7回目の開催となった。

日程：令和5年8月7日(月)～8日(火)※渡島は8日
共催：公益財団法人日本文化興隆財団
公益社団法人日本青年会議所
関東地区協議会
後援：子ども家庭庁・厚生労働省
参加条件：硫黄島での戦死者ご遺族関係者
参加数：16名
(ご遺族関係者・スタッフ・慰霊祭祭員)
参加費：100,000円(ひとり44,169円返金)
行程：8月7日(月)
15時 ご遺族関係者意見交換会
17時 結団式
8月8日(火)
7時50分 航空自衛隊入間基地発
10時30分 硫黄島着 島内研修視察
14時 硫黄島戦没者の碑 慰霊祭
15時30分 硫黄島発(C2輸送機)
18時10分 航空自衛隊入間基地着



(2) 建国メモリアル・ザ・マーチングコンテスト後援

令和6年2月11日の建国記念の日に開催された「建国メモリアル・ザ・マーチングコンテスト」を後援し、国旗小旗の提供、審査員、職員の派遣をおこなった。

日程：令和6年2月11日(祝)
時間：9時30分～14時
場所：表参道～明治神宮
主催：日本の建国を祝う会
後援：公益財団法人日本文化興隆財団
協力：商店街振興組合原宿表参道樺会
東京都大学吹奏楽連盟

参加団体
東京都神社スカウト協議会
きよし幼稚園
CHIBAフォームバトン
相模原フォームバトン
帝京大学学友会文化局吹奏楽部
東海大学吹奏楽研究会
専修大学吹奏楽研究会
國學院大學体育連合会吹奏楽部
早稲田大学應援團吹奏楽部
立正大学吹奏楽部
駒澤大学吹奏楽部



◇収益事業1

物品頒布事業

公益事業の推進に資するべく、日本文化に関連した各種取扱品の頒布に努めた。皇室カレンダー、神社検定公式テキストが増加したほか、櫛など実用品も増加した。

◇収益事業2

テナント及び貸会議室の施設運営

(1)テナント事業

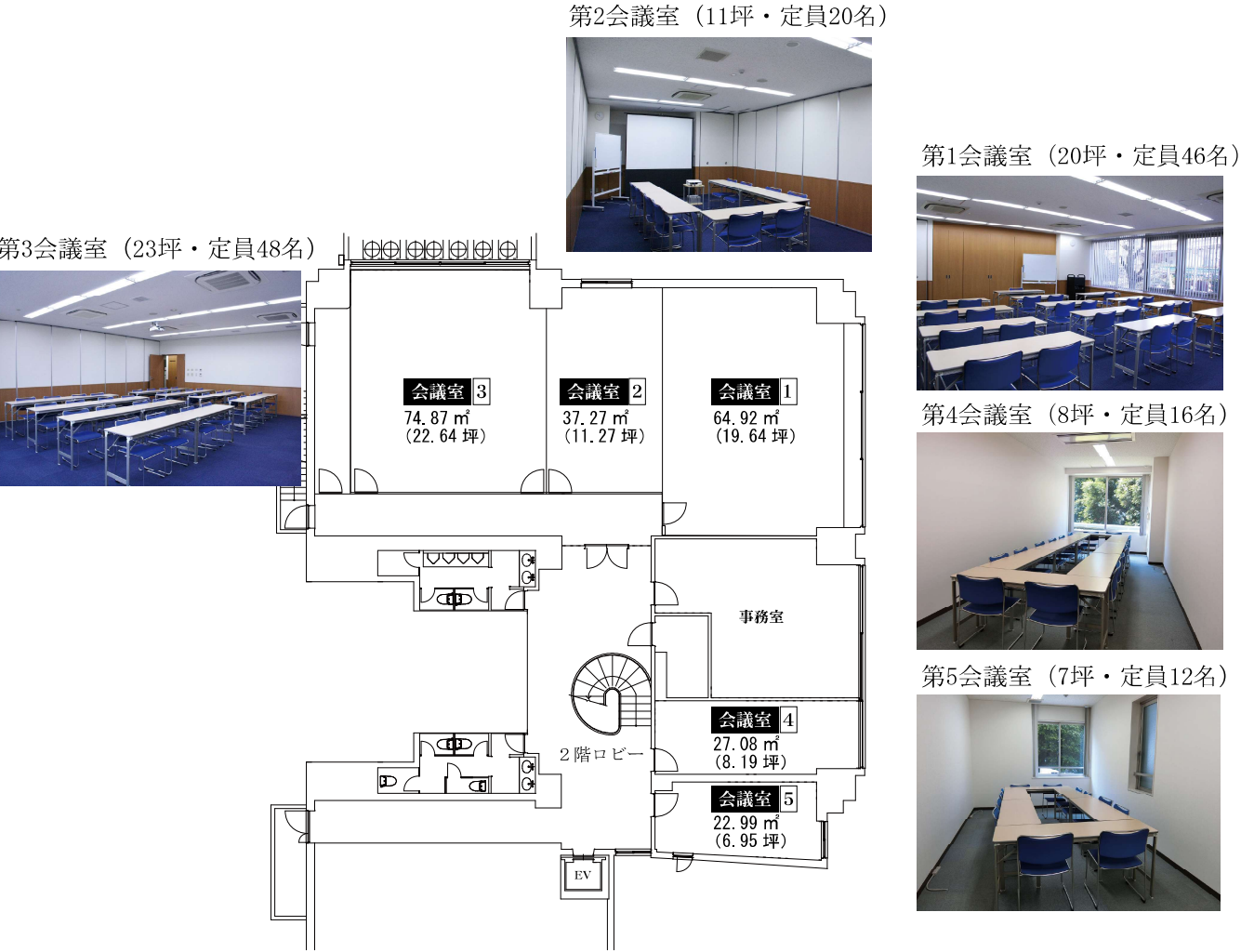
利用状況と入居団体

101号室 物品発送室として使用
201号室 事務局
202号室 空室(貸会議室4として使用)
203号室 空室(貸会議室5として使用)
※令和6年2月より『皇室』編集室
204号室 一般社団法人日本国際文化協会
世界連邦日本宗教委員会
日本フィンランド文化友好協会
205号室 公益社団法人全日本仏教婦人連盟
206号室 有限会社村上

(2)貸会議室の施設運営

令和元年度より新型コロナウイルス感染症の影響で近隣企業の各種研修会、諸会議等の利用が減少していたが、令和5年度は、利用件数も増加し、コロナ禍前の状況に回復している。特に企業の研修での利用が増加し、定期的に利用する団体が増加した。

令和4年度 利用件数：155件/利用時間：2,202時間
令和5年度 利用件数：236件/利用時間：2,492時間



理事(8名)

令和6年6月11日現在

役 名	氏 名	役職名
理事長	田中恆清	(宗)神社本廳総長
副理事長	吉川通泰	(宗)神社本廳理事
理 事	打田文博	(公財)昭和聖徳記念財団評議員
理 事	田尾憲男	(公財)交通道德協会評議員
理 事	大原康男	國學院大學名誉教授
理 事	内田 智	(公財)生長の家社会事業団理事
理 事	齊藤有子(高清水有子)	皇室評論家
理 事	橋本寿史	(株)フジテレビジョン報道局解説員

監事(2名)

令和6年6月11日現在

役 名	氏 名	役職名
監 事	南部利文	(宗)神社本廳監事
監 事	小關笑子(小関微笑子)	(一社)日本国際文化協会常務理事

評議員(6名)

令和6年6月11日現在

役 名	氏 名	役 職 名
評議員	小野貴嗣	(宗)神社本廳常務理事
評議員	藤江正謹	(宗)神社本廳常務理事
評議員	日比敏明	(宗)神宮財務部長
評議員	茂木貞純	古宮神社宮司
評議員	加藤健司	民俗芸能学会理事
評議員	松本久史	(学)國學院大學教授

顧問(5名)

令和6年6月11日現在

役 名	氏 名	役職名
顧 問	鷹司尚武	(宗)神社本廳統理
顧 問	久邇朝尊	(宗)神宮大宮司
顧 問	小林 健	全国神社総代会会長
顧 問	佐柳正三	(学)國學院大學理事長
顧 問	小串和夫	(学)皇學館理事長

理事会

◇定時理事会
日 時 令和5年8月28日（月）
11時00分～12時00分
場 所 神社本庁地下一階会議室
【報告事項】
1、前理事会以降の職務執行状況について
2、その他
【審議事項】
1、令和4年度事業報告について
2、令和4年度決算について
3、定款の変更について
4、電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程について
5、任期満了に伴う理事・監事・評議員の改選について
6、臨時評議員会（書面）及び定時評議員会開催について
7、その他

◇書面決議
理事会の決議があったものとみなされた日
令和5年10月5日（木）
【審議事項】
1、理事 田中恆清を代表理事に選定し理事長とする。
2、理事 吉川通泰を業務執行理事に選定し、副理事長とする。
3、臨時評議員会（書面決議）開催について
4、松本久史氏（國學院大学教授）を評議員に選任する。

評議員会

◇書面決議
評議員会の決議があったものとみなされた日
令和5年9月16日
【審議事項】
1、定款変更について
【変更前】
第18条 評議員会の議長は、評議員会において、出席した評議員の中から選出する。
【変更後】
第18条 評議員会の議長は、理事長とする。ただし、理事長が欠けたとき又は理事長に事故あるときは、当該評議員会において、出席した評議員の中から選出する。

◇定時評議員会
日 時 令和5年9月22日（金）
14時00分～14時55分
会 場 神社本庁地下一階会議室
【報告事項】
1、第12回神道文化検定（神社検定）開催について
2、その他
【審議事項】
1、令和4年度事業報告について
2、令和4年度決算について
3、任期満了に伴う理事・監事・評議員の改選

監事会

◇監事会
日 時 令和5年8月28日（月）10時00分～10時50分
場 所 神社本庁地下一階会議室
1、予備監査報告
2、令和4年度事業及び決算報告
3、諸帳簿・伝票等照合
4、監査報告書署名
5、その他

◇監事会
日 時 令和6年2月26日（月）15時56分～16時47分
場 所 神社本庁三階会議室
1、令和5年度中間監査報告（予備監査）
2、令和5年度事業及び決算報告（中間）
5、諸帳簿・伝票等照合
6、監査報告書署名
7、その他

◇臨時理事会
日 時 令和6年3月27日（水）
15時00分～16時06分
会 場 神社本庁地下一階会議室
【審議事項】
1、扶桑社との出版委託並びに販売の委託に関する契約変更の件

◇定時理事会
日 時 令和6年6月3日（月）
午後4時03分 ～ 午後5時02分
会 場 神社本庁地下一階会議室
【報告事項】
1、前理事会以降の職務執行状況について
2、神道文化検定（神社検定）について
3、季刊誌『皇室』について
4、評議員の異動について
5、その他
【審議事項】
1、令和6年度事業計画（案）について
2、令和6年度予算（案）について
3、国民精神事業推進基金の取り崩し及び再積立てについて
4、参与の異動について
5、臨時評議員会開催について（書面決議）
6、その他

◇書面決議
評議員会の決議があったものとみなされた日
令和5年10月25日
【審議事項】
1、評議員選任の件
松本久史氏を選任する。

◇書面決議
評議員会の決議があったものとみなされた日
令和6年6月11日
【審議事項】
1、評議員の異動について
評議員退任者 葦津健次郎（神宮 禰宜）
評議員就任者 日比敏明 （神宮 禰宜）